

◆教育基本法との対応

【公民的分野】		
教育基本法第2条	特に意を用いた点や特色	具体例
第1号 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。	●各種メディアの資料の読み取りと適切な活用法の学習を通し、生徒が主体的に情報を活用できるよう配慮しました。	●p.6～9
	●ルールのみならず役割を学んだうえで、合唱コンクールの練習場所の決定や地域でのごみ出しのルールづくりに関する学習活動を展開することを通して、価値観の違いや人々の関係を調整し、より多くの人々の合意が図られる社会を築いていくことの大切さを学ぶことができるよう配慮しました。	●p.26～33
	●憲法学習の導入として、憲法を学ぶ意義や日本が法治国家であることの学習を通じて、法やルールを遵守することにより人権や社会の安全と秩序が守られていることについて、理解を深めることができるようにしました。	●p.40～45
第2号 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。	●非正規雇用の増加など労働環境の変化をめぐる事例から、公平な雇用環境のあり方への関心を高めたり、生きがいや誇りをもって働く人々の事例から、仕事への興味・関心を高め、勤労の価値を見いだしたりすることができるように留意しました。	●p.142～145
第3号 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。	●公共の福祉についての理解を深めるとともに、憲法で保障されている自由と権利を守るためには、国民一人一人が義務と責任を果たさなければならないことを認識できるよう配慮しました。	●p.57, p.64～65
	●裁判員制度や模擬裁判の学習を通じて、国民の司法参加の意義について理解を深め、将来の裁判員として司法に参加することへの意識を高めることができるよう配慮しました。	●p.108～111
	●消費者としての権利と責任を学ぶことや、起業計画を立案し発表する活動を通して、将来の地球社会の形成と、その発展に寄与する態度を養うことができるようにしました。	●p.132～133, p.146～147
	●社会保障制度の学習やレポート作成の活動を通じて、制度の現状への理解を深め、今後のあり方や取り組みについて考察することで、将来の主権者としての意識を高めることができるよう配慮しました。	●p.170～179
第4号 生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うこと。	●平和主義の歩みと現状を学習し、未来の平和の構築について考えを深めていく活動を通して、生命の大切さや地球環境を守ることへの自覚を高めることができるよう配慮しました。	●p.72～77
	●市場経済における企業の責任について学習する中で、消費者の安心や安全とともに、地元地域での果樹の植え付け活動など、環境への影響に配慮した企業活動が重視されていることに気づくことができるよう配慮しました。	●p.140～141
	●公害問題と環境保全への取り組み、身近なごみ問題、地球規模の環境問題についての理解を深め、環境への負荷を軽減する循環型社会の実現のために、多様な主体による協働や個々の行動が不可欠であることを自覚できるようにしました。	●p.180～181
	●再生可能エネルギーの使用と生物の生息環境の関わりや、水資源問題、世界の子どもや女性が抱える問題などを取り上げ、国際的な課題と自分たちの暮らしとの密接な結びつきについて考えるとともに、持続可能な発展や人間の安全保障の考え方について、考察を深めることができるようにしました。	●p.212～221
第5号 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。	●ロボット開発や再生医療の研究をテーマにした「科学の発展」、日本人の「宗教観」、音楽や絵画のつくりかたをテーマにした「芸術」、継承や交流から描いた「伝統・文化」などを学習する中で、長きにわたり大切に受け継がれてきた、我が国の伝統や文化に対する興味・関心を養うことができるよう配慮しました。	●p.20～25
	●地方分権のもと、地域の人々が地域の振興や活性化に向けて独自のさまざまな取り組みを行っている事例を学習することで、地域社会が抱える課題の解決に参画しようとする態度を養ったり、郷土に対する愛着を深めたりしていくことができるよう配慮しました。	●p.118～123
	●北方領土や日本人拉致など、近隣諸国との間で未解決になっている諸問題を取り上げ、近隣諸国とどのような関係を築いて解決を目指すか、また、日本が国際社会で果たせる役割や自己との関わりについて、考察を深めることができるようにしました。	●p.196～199, p.205

◆単元構成と時間配当

【公民的分野 総配当時数 100】



✔全体の構成は、ここを重点的にリニューアルしました！

1. 「SDGs（持続可能な開発目標）」の17の目標との関連を図っています。
 - ➡冒頭の「公民の学習を始めるにあたって」で示したSDGsの視点について、「本時ページ」、各章末の「まとめ」、社会科学学習の集大成として課題を探究する「終章」等の各所で、それぞれの学習や活動を深めていく際に関連が図りやすいよう工夫して表示しています。
2. 「単元を貫く問い」と「振り返り」のパートを強化しています。
 - ➡章ごとの「問い（学習のテーマ）」や「見方・考え方」を確かめながら学習の見通しがもてる「学習のはじめに」ページと、三つのステップで段階的に章全体の学習を振り返ってまとめることができる「学習のまとめと表現」ページを充実させています。

教科書の単元配列	配当時数	学習指導要領の内容	該当箇所
第1章 私たちの暮らしと現代社会	[11]		p.11
学習のはじめに：現代の社会ってどんな社会だろう	1	A (1)	p.12～13
1節 私たちが生きる現代社会	3	A (1)	p.14～19
2節 現代につながる伝統と文化	2	A (1)	p.20～25
3節 私たちがつくるこれからの社会	4	A (2)	p.26～33
学習のまとめと表現	1		p.34～36
第2章 個人を尊重する日本国憲法	[18]		p.37
学習のはじめに：日本国憲法の最も大切な考え方とはなんだろう	1	C (1)	p.38～39
1節 日本国憲法の成り立ちと国民主権	3	C (1)	p.40～45
2節 憲法が保障する基本的人権	11	C (1)	p.46～71
3節 私たちと平和主義	2	C (1)	p.72～77
学習のまとめと表現	1		p.78～80
第3章 私たちの暮らしと民主政治	[22]		p.81
学習のはじめに：地方議会ウォッチングに行こう	1	C (2)	p.82～83
1節 民主政治と日本の政治	6	C (2)	p.84～95
2節 三権分立のしくみと私たちの政治参加	9	C (2)	p.96～113
3節 地方自治と住民の参加	5	C (2)	p.114～123
学習のまとめと表現	1		p.124～126
第4章 私たちの暮らしと経済	[19]		p.127
学習のはじめに：もしもすべての給食を一人で作ったら	1	B (1)	p.128～129
1節 消費生活と経済活動	3	B (1)	p.130～135
2節 企業の生産のしくみと労働	6	B (1)	p.136～147
3節 市場のしくみとはたらき	2	B (1)	p.148～151
4節 金融のしくみと財政の役割	6	B (1), (2)	p.152～163
学習のまとめと表現	1		p.164～166
第5章 安心して豊かに暮らせる社会	[10]		p.167
学習のはじめに：私たちの15年を振り返ってみよう	1	B (2)	p.168～169
1節 暮らしを支える社会保障	5	B (2)	p.170～179
2節 これからの日本経済の課題	3	B (1), (2)	p.180～187
学習のまとめと表現	1		p.188～190
第6章 国際社会に生きる私たち	[15]		p.191
学習のはじめに：「持続不可能」から「持続可能」へ	1	D (1)	p.192～193
1節 国際社会の平和を旨として	6	D (1)	p.194～207
2節 国際社会が抱える課題と私たち	7	D (1)	p.208～223
学習のまとめと表現	1		p.224～226
終章 私たちが未来の社会を築く	[5]		p.227
1節 持続可能な未来の社会へ	5	D (2)	p.228～234
学習資料編			p.236～255
用語解説			p.256～259
さくいん			p.260～264
計100			